

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立太田小学校（埼玉県）

【取組内容①③】 ・ Googleサイトに学びのプラットフォームを作ろう！

○Googleサイトを活用するメリット

①他のGoogleのアプリケーション、サイトとの相性が良い。

- ・リンクの貼り付け、埋め込み等を活用するだけで学習に活用するアプリやサイトを集約することができる。

★今まで・・・

授業で使用するサイト等をクラスルームに貼り付け共有

→サイトに貼るだけ、流動性が少ないため見やすく、蓄積が容易。

②次年度以降も活用できる。

- ・一度型を作ってしまうと「コピーを作成」から新しく活用◎
- ・同学年ならそのまま活用できる、他教員に共有しても◎
- ・教材がそのまま使える。（児童写真、古い教材の取り扱いに注意！）

○実際の事例

①授業で活用する教材を教科・単元ごとにまとめる。

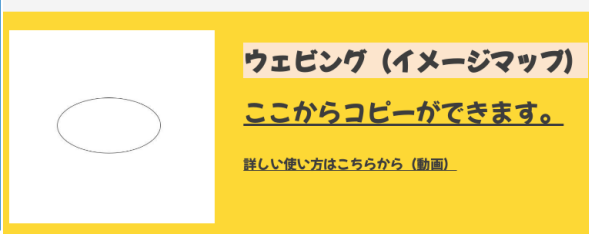
②Googleアプリをいつでも自由に活用できるようにまとめる。

③思考ツールをいつでも自由に活用できるようにまとめる。

★②③は係活動や、自走する学びに大活躍！（授業内の活用は別スライドで。）



○情報や考えを集める・広げるとき。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立太田小学校（埼玉県）

【取組内容①③】 ・ Googleサイト×スプレッドシートで自走する学びへ！

○Googleサイトの活用

★授業で活用する教材を教科ごとにタブにまとめる。(今回は社会科)

- ①調べ学習をまとめるツールを児童自身が選択する。(紙も○)
- ②選択したツールを別タブからコピーする。(スライドや思考ツール等)
→別タブの内容は「別スライド」を参照してください。
- ③サイト内のスプレッドシートに選択したツールのリンクを貼り付ける。
(詳細はスプレッドシートの活用を参照してください。)
- ④教科書や動画教材などをまとめておき、児童はそれらの教材を参照し、調べ学習をそれぞれの進捗で進める。

○スプレッドシートの活用

- ★児童が選択したツールのリンクを貼り付ける。
→教員が進捗を確認するのが容易になることで必要な支援が可能に。
→児童同士で他者参照・途中参照が容易になることで学びが深まる。
- ★振り返り表を設けることで次時に繋がる学びへ。
→教員が引っ張るのではなく、児童同士で助け合い学び合うスタイルに。
→教員は教材の準備、要支援の児童の補助、確かな学力の定着の支援へ。

★学習計画・ツールはここからにん！ → 学習計画・ツール表

★調べたことをまとめるツール → ○紙 ○スライド ○ドキュメント
自分が使ったツールをツール表に打ち込もう！ (紙はドキュメントに写真を貼る)

○ふせこう、交通事故こや事けん

【参考動画】

②交通事故が起きたときのれんらく ③事こまふせくための取り組み ④けいさつの人仕事1
⑤けいさつの人仕事2 ⑥けいさつの人仕事3 ⑦まちを守るための取り組み ⑧まとめ

なくせうこわい火事			
学習課題	詳細	思いよう	チェック
つづむ	① 学習課題・計画を立てよう！		<input checked="" type="checkbox"/>
調べる	① まずは身近な学校の消防団や消防士について調べよう。(写真・チャット)		<input checked="" type="checkbox"/>
	② 久喜市の火事について調べよう。まとめるツールを決めよう。		<input checked="" type="checkbox"/>
	③ 消防団や消防士の仕事について調べよう。		<input checked="" type="checkbox"/>
	④ 消防団や消防士の仕事について調べよう。		<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤ 消防団や消防士の仕事について調べよう。		<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ 学校の周りの消防団や消防士の仕事について調べよう。		<input checked="" type="checkbox"/>
まとめる	⑦ まとめ、火事から身を守るために自分ができることは何かを考えよう！		<input checked="" type="checkbox"/>

ツール	リンク・写真	完了!
紙	https://docs.google.com/spreadsheets/d/1NuyJFsCae8As8McyZnC	<input type="checkbox"/>
ドキュメント	https://docs.google.com/spreadsheets/d/1FlyUMx6l8GSqXvAynpAt	<input checked="" type="checkbox"/>
ドキュメント	https://docs.google.com/spreadsheets/d/1tDjJPD336pZ5OfZdRBI	<input type="checkbox"/>
紙	https://docs.google.com/spreadsheets/d/1hLjydl1LuXqivJcTY-zn	<input checked="" type="checkbox"/>
スライド	https://docs.google.com/presentation/d/1nUxWz2	<input checked="" type="checkbox"/>

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立太田小学校（埼玉県）

【取組内容①】 ・ Googleチャットで投票をしてみよう！

○Googleチャットの活用

■ スーパーマーケット見学後、それぞれの児童が見つけた店の工夫をチャットに送る。

- 上位層・・・情報を発信→理解が定着、待ちが無くなる。→「教える」自信。
- 下位層・・・上位層が書き込んだ情報を吸収・定着→「たくさん書けた！」自信。
（中学校ではチャットの活用や他者参照が主流。その導入として取り入れたもの。）
- ◎ 子どもたち一人一人が活躍・フル活動をする学習へ。

■ 自分が理解したことを、自分で選択したツールで表現する。

- 見つけた工夫をもとにポップを実際に作成してみる。
（選択できるツール→・スライド・Jamboard・学習支援ツール・紙）
- 自分が表現しやすいツールを使い、理解を深める。（学習の個性化）

■ チャット内にあるリアクションの数で総選挙を行う。

- 投票やアンケートは主にGoogleフォームを活用するのが一般的であるがチャットのリアクションなら容易にできる。（低学年でも活用◎）
- △ 正確性には欠けるため、チャットの導入などで活用するのがよいか。

